

弟子屈町長 徳永 哲雄 様

第6次弟子屈町総合計画及び
人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略

まちづくり町民会議に基づく
弟子屈町へのご提言書



令和3（2021）年10月4日

第6次弟子屈町総合計画及び人口ビジョン・次期てしかがまち・
ひと・しごと創生戦略策定に係るまちづくり町民会議委員一同

【目次】

1	ご提言にあたり	1
2	ご提言に至る取り組みの経緯	2
	（1）住民ワークショップの概要	2
	（2）提言書のまとめに至る経緯	4
3	弟子屈町へのご提言	5
	（1）グループAの提言	5
	（2）グループBの提言	7
	（3）グループCの提言	10
4	提言のベースとなった意見一覧	12
	（1）グループA	12
	①伸ばすべきところ	12
	②変えたいところ	15
	③やるべきこと	17
	（2）グループB	19
	①伸ばすべきところ	19
	②変えたいところ	22
	③やるべきこと	26
	（3）グループC	28
	①伸ばすべきところ	28
	②変えたいところ	30
	③やるべきこと	32
5	住民ワークショップ 参加者名簿	33
6	住民ワークショップ 実施の様子	34

1 ご提言にあたり

第6次弟子屈町総合計画及び人口ビジョン・次期てしかがまち・ひと・しごと創生戦略の策定にあたり、まちづくり町民会議委員として住民の立場から参加させていただくことになり、誠に有り難うございます。

まちづくり町民会議の開催を通じ、私達メンバー一同は、弟子屈町の良さ、すばらしさを一人ひとりが感じ、さらには、これからの町の可能性を十分認識していることが分かりました。

その良さ、すばらしさ、そして可能性をさらに広げるために、検討を重ね、今回提言書というかたちでまとめました。

まちづくりは役場及び役場職員だけに任せるものではなく、ここに住む私達一人ひとりが力を出し合い、この町をより良くする取り組みを進めることが必要と思います。

今回、提言書として今後のまちづくりへの思いをまとめましたが、この提言書が、本町の更なる発展の一助になればこれ以上の喜びはありません。

本町そして本町に住む全ての住民が、希望を持ってまちづくりを進めることを祈念します。

令和3年10月4日

第6次弟子屈町総合計画及び人口ビジョン・次期てしかがひと・まち・しごと創生戦略
策定に係まちづくり町民会議 委員長 今井 慎也

2 ご提言に至る取り組みの経緯

(1) 住民ワークショップの概要

予定する住民ワークショップは、予定する3回の開催で提言書のまとめまでを完了するために、各回の開催テーマを以下のように設定しました。

■ワークショップの概要と意見交換の進め方

開催テーマ（案）	
第1回	弟子屈町の強み、弱みの整理 ・町の「伸ばすべきところ」「変えたいところ」
第2回	「理想の未来」を実現するためには？ ・町がこれから「やるべきこと」
第3回	町への提案（まとめ） ・提言書の作成

また、各回の開催内容は以下の通りです。

①第1回住民ワークショップ

〔開催概要〕

開催日時	令和3年7月5日（月） 19:00～21:00
開催場所	弟子屈町役場 3階会議室
テーマ	弟子屈町の強み、弱みの整理
内容	弟子屈町の「伸ばすべきところ」と「変えたいところ」について意見を出し合い、整理

〔プログラム〕

19:00	1 開会
	2 町長あいさつ
	3 委嘱状の交付
19:15	4 第1回から第3回の進め方の説明（※オリエンテーション）
19:20	5 グループ別協議
	（1）意見（伸ばすべきところ、変えたいところ）の提出
	①ポストイットカードへの意見の記入
	②意見の個別発表と意見の共有化
	（2）意見（伸ばすべきところ、変えたいところ）のグルーピング
	※「伸ばすべきところ」と「変えたいところ」について、グループ化とまとめを実施
20:55	6 まとめと閉会
21:00	終了

②第2回住民ワークショップ

〔開催概要〕

開催日時	令和3年7月21日（水） 19：00～21：00
開催場所	弟子屈町役場 3階会議室
テーマ	「理想の未来」を実現するためには？
内容	第1回のまとめに基づいて、弟子屈町がこれから「やるべきこと」について意見を出し合い、整理

〔プログラム〕

19：00	1 開会
	2 第1回の振り返りと第2回の進め方（※オリエンテーション）
19：15	3 グループ別協議
	（1）これから町が「やるべきこと」についての意見の提出
	①ポストイットカードへの意見の記入
	②意見の発表と意見の共有化
	（2）意見の整理
	①意見のグルーピング
	※これから町が「やるべきこと」について、グループ化とまとめを実施
	4 町への提言書についての検討
	※次回（第3回）で作成する「提言書」のアウトラインの検討
20：55	5 まとめと閉会
21：00	終了

③第3回住民ワークショップ

〔開催概要〕

開催日時	令和3年8月6日（金） 19：00～21：00
開催場所	弟子屈町役場 3階会議室
テーマ	町への提案（まとめ） ・提言書の作成
内容	第2回のまとめ（これから町が「やるべきこと」）に基づいて、弟子屈町への提言書の作成

〔プログラム〕

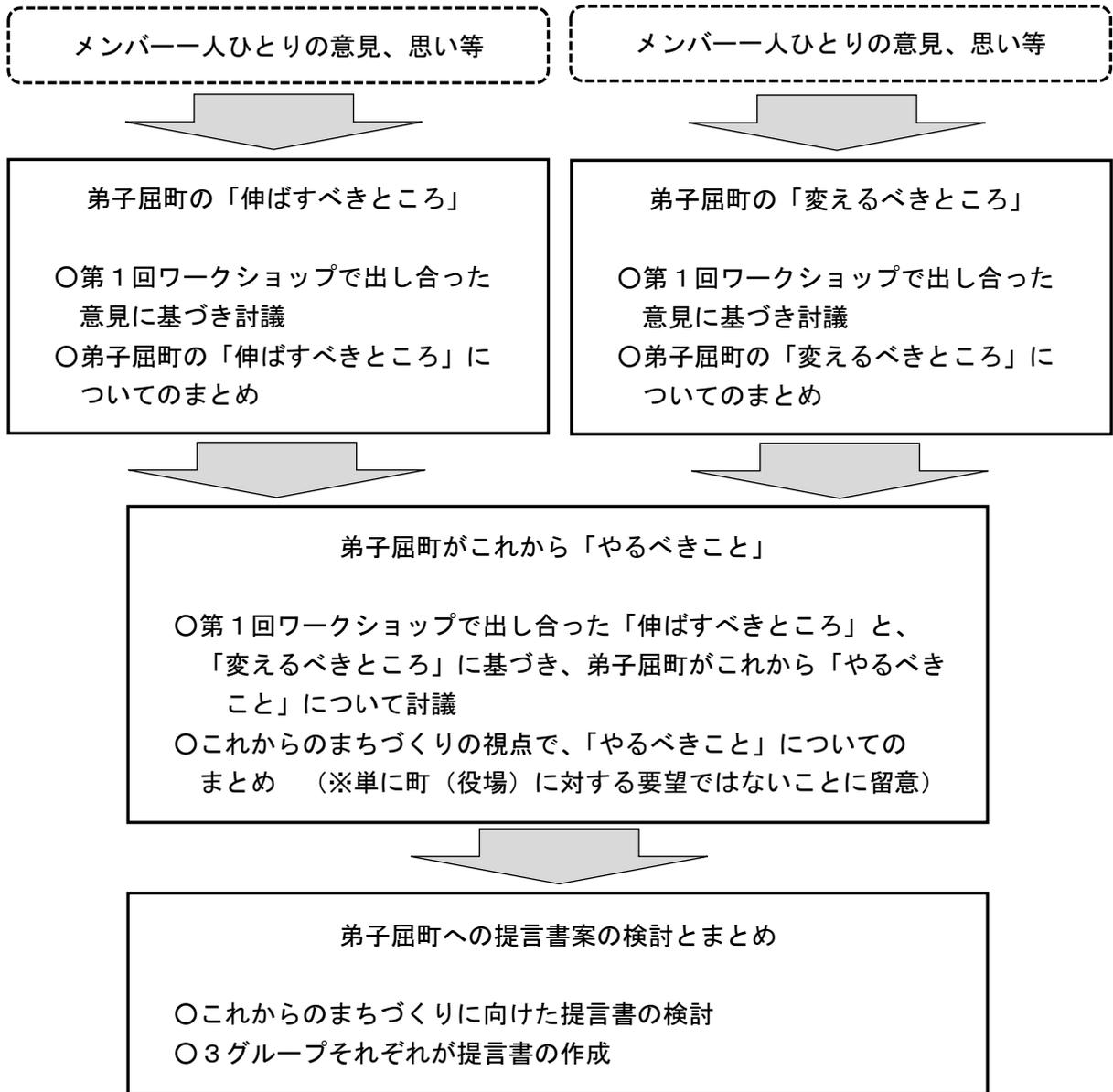
19：00	1 開会
	2 第2回の振り返りと第3回の進め方（※オリエンテーション）
19：15	3 グループ別協議
	※グループ別に提言書（案）の作成
20：30	4 各グループによる発表
	※グループ毎に町への提言の発表
20：55	5 まとめと閉会
21：00	終了

(2) 提言書のまとめに至る経緯

参加したワークショップのメンバーは、弟子屈町でそれぞれの仕事に就きながら、常日頃より町について考えており、その考えは多岐に分かれています。

そのため、意見をまとめるにあたっては、3グループに分かれそれぞれのグループの討議を踏まえて意見の整理を行い、最終的な提言書としてまとめました。

そのプロセスは以下の通りです。



なお、本提言書では、各グループがまとめた「提言」、及び提言に至った「伸ばすべきところ」、「変えるべきところ」、及び弟子屈町がこれから「やるべきこと」についての意見を、以下に挙げています。

3 弟子屈町へのご提言

(1) グループAの提言

メンバー：保里 慎太郎、今井 慎也、鈴木 弥生、伊藤 恭子、山野 太郎

【提言のメインテーマ】

人口流出の抑制と人口増加へ向けた取り組み

提言 1

だれもが夢を持って働ける町づくり

〔提言の内容（説明）〕

- 働き場所とのマッチング
- 頑張る人を応援する制度・仕組みづくり

提言 2

だれもが住みやすい町づくり

〔提言の内容（説明）〕

- 子育て支援と遊具施設の整備
- インフラ整備（宿泊・JR・バス）
- 住環境の整備・確保

提言 3

だれもが『てしかが LOVE』になる教育

〔提言の内容（説明）〕

- 親の意識改革
- 親子体験学習
- 世代、性別を超えた人的な交流
- 環境教育

提言 4

だれもが参加したくなる地域づくり

〔提言の内容（説明）〕

- 若手の自治会への参入（多世代による構成）
- 地域ぐるみでの子育て（見守り）

提言 5

「いたらいいな」「あったらいいな」がある町

〔提言の内容（説明）〕

- 行政書士、司法書士、社会保険労務士、弁護士
- お得な商品券

提言 6

情報発信の強化・推進

〔提言の内容（説明）〕

- 何事も情報が大事！
- 情報提供・発信の仕組みづくり
- 情報発信側への支援（HP作成など）
- 自ら発信できる知識・技術のサポート体制

提言 7

うつくしい町づくり

〔提言の内容（説明）〕

- 自然・景観の保護（廃墟・倒木・雑草等の適切な処理）
- スクラップ&ビルド

(2) グループBの提言

メンバー：前田 航太、猪狩 大智、筒井 貴文、川上 椋輔、大井 美侑

提言 1

町民価格が充実しているまちづくり

〔提言の内容（説明）〕

- 町の魅力を再認識できる、町の施設をつかえる！
 - 温泉料金
 - アウトドア体験料金
 - 駐車場料金
 - ゴミ袋を安く！！
 - 町の施設利用料金
 - プレミアム商品券
 - 町内消費の拡大

提言 2

光回線をしっかり活用する為、各世帯への電子端末の設置

〔提言の内容（説明）〕

- 町内全体のITリテラシーの向上
 - 介護。医療の負担軽減（オンライン、カメラで見える）
 - 道路状況・情報などの住民提供
 - You Tube やLine@など全町民に届ける
 - 行政側の効率的な運営

提言 3

特色ある教育環境づくり

〔提言の内容（説明）〕

- 保・小・中一貫校をつくる（コンパクトな教育環境）
- 特認校も残す（一貫校なのか、特認校かを選べる）
- 弟子屈高校の改善
 - ・アウトドア特区（ex. 標茶高→酪農のような）
 - ・立地や環境を生かした授業・学部の設立
 - ・新たな制服のデザイン
- 弟子屈高校の生徒が増える→将来弟子屈で就職してくれる人口が増加

提言 4

(廃屋) 空き家のないまちづくり

〔提言の内容（説明）〕

- 全戸調査の実施
- 解体補助、空き家地のバージョン支援の充実
- 空き家情報窓口の設置
- 空き家放置家屋への固定資産税率UP→手放すキッカケづくり

提言 5

ハードルの低い移住ができるまちづくり

〔提言の内容（説明）〕

- 自由度の高い移住窓口の設置（民間と連携、土日対応、空き家事業との連携）
- 移住体験住宅の増加（最低 20 軒）
- コンテナ、トレーラーハウスの導入
- ヘルパーや農泊の積極的な導入

提言 6

観光と農業の連携

〔提言の内容（説明）〕

- * 「観光と農業のまち」なのに、現状連携が少ないのは問題
- 農泊、農業体験とホテルなどの連携
- 宿泊業者とつながる機会がない!!（連携できる場づくり）
- 地産地消する宿泊施設への補助導入など

提言 7

若者の雇用づくり!!

〔提言の内容（説明）〕

- ネット求人情報の充実、援助
- 事業の担い手を探す経営者からの情報収集
- インターンシップを導入する企業を増やすキッカケづくり
- “雇用”というより“体験”を増やす!!
- 地域おこし協力隊制度をより柔軟に使うべき

提言 8

高齢者の雇用づくり!!

〔提言の内容（説明）〕

- 高齢者かつ働く意欲のある人の見える化
- 「高齢者ドラフト会議の実施」、「逆スカウト」
- 「高齢者の人でも出来る仕事求人」を募集

提言 9

町のキャッチコピーの変更とゆるキャラ（づくり）！

〔提言の内容（説明）〕

- *今のキャッチコピー、言える人はいるのでしょうか?!
メッセージ性を感じないかもしれない
- 牛山豚彦は農協のものとなると…
- 新たに作るべき?もしくは、牛山で押し通すか決める!!

(3) グループCの提言

メンバー：東 香与子、窪内 英和、吉田 祥子、國分 知貴、白山 翔太

提言 1

自然「保護・利用」のルールを作る

〔提言の内容（説明）〕

*環境省と連携

○町内外の人が明確に分かるもの（ルール）

それは国内でも先駆的な利用ルールであるべき)

- ・湖→既存ルールの周知
- ・ゴミ→町全体での回収システムの構築
- ・フィールド利用→事前申請で国立公園内にテントを貼れる等

提言 2

弟子屈独自の“地の利を活かした”教育

〔提言の内容（説明）〕

①アウトドア

②アイヌ文化

③農業

小→中→高でカリキュラム化

↓

- ・町外から呼び込むキッカケになる
- ・移住促進にも

提言 3

新しい町のブランディング

〔提言の内容（説明）〕

○統一されたロゴデザイン（グローバルなもの）

○町民が使いたくなるような町のサイン

○ツール関係の見直し（ステッカー、WEB、パンフレット）

提言 4

川湯再生に向けた補助体制の強化

〔提言の内容（説明）〕

- 温泉施設の統廃合
- 廃屋、廃カンバンの撤去とその支援
- 新しい利用者の誘致や新設

提言 5

町民の意見を取り入れた中心市街地作りを進める

〔提言の内容（説明）〕

- 読み聞かせルームや音読室、自習室などを備えた新しい図書館
- 町民も観光客も楽しめる温泉施設・プール
- 持続可能な維持体制、駐車場問題の解決
- 町民が利用できるフリースペース、ギャラリーの確保

4 提言のベースとなった意見一覧

(1) グループA

メンバー：保里 慎太郎、今井 慎也、鈴木 弥生、伊藤 恭子、山野 太郎

①伸ばすべきところ

環境保全

【メンバーからの意見】

- 自然環境の保全
- どこにも無い唯一無二の大自然
- 豊かな自然
- 観光施設・場所の清潔度合いを上げる

子ども

【メンバーからの意見】

- 子どもの遊具施設の充実・拡大化・集約化
- 子どもが遊べる場所

面での観光強化、弟子屈を”目的地”へ

【メンバーからの意見】

- 公共機関の充実
- 宿泊施設の充実

大人



【メンバーからの意見】

- 観光客が遊べるところをもっと増やしたい
- 湯の島の活性化プランの提起



【メンバーからの意見】

- 町が一つになるイベント（球技大会など）
- 町民が一つになる各種イベント（ウィンターフェスタ、サマージャックなど）

一次産業



【メンバーからの意見】

- 食材が豊富にあるということ（農業、酪農、果物）
- 基幹産業の農業（生産量）

情報発信（インフルエンサー）



【メンバーからの意見】

- 弟子屈町からの発信
- 弟子屈町は自然が素晴らしいのでアピールをしていきたい
- 企業を通じて弟子屈町をアピールする
- 町民の町内施設認知度の向上 ※日帰り温泉施設や楽しめる施設等
- 弟子屈施設さんの話をもっと聞いてあげて

外の人を迎え入れる環境づくり



【メンバーからの意見】

- 移住しやすい環境づくり
- 人と人が近くすぐに繋がれるところ
- 誰もが挑戦できる環境（起業など）

②変えたいところ

子どもを安心して育てられる環境づくり



【メンバーからの意見】

- 子どもをサポートする人への支援（手当や報酬など）
- 子育てをしていく中で医療関係や学校などもう少し子育てがしやすい環境にして欲しい
- 地域での子どもの見守り
- 近所付き合いの無さ
- 公共交通機関の利用が不便

手入れの行き届いた町



【メンバーからの意見】

- 国道の歩道にある伸びきった雑草を綺麗にして欲しい（弟子屈から川湯の間）
- 廃墟となった建物施設が残ることでの景観の損失の改善
- 倒木の処理（町内の倒木が結構ひどいので）
- 川湯温泉地区の街並みを綺麗にして欲しい

意識改革（町民全体）



【メンバーからの意見】

- できない理由を集めるのではなくどうしたらできるのかを考えること

弟子屈再発見教育



【メンバーからの意見】

- 若年層の弟子屈への認識
- 「自然環境が素晴らしい」ということを町民がもっと意識すること
- 町民が自然に興味を持てるよう利用しやすくする

担い手づくり（確保）



【メンバーからの意見】

- 後継者不在企業と定住就職希望者とのマッチング
- 農業（担い手）

③やるべきこと

【メンバーからの意見】

- 町全体でできるお得な商品券

【メンバーからの意見】

- 行政、司法書士が弟子屈にいと便利

【メンバーからの意見】

- 自治会加入率を上げる
- 自治会活動の実施。もっと実施
- 小さくてもいいから祭り実施

【メンバーからの意見】

- 人口流出の抑制と人口増加へ向けた取り組み

【メンバーからの意見】

- 商品をもっと知ってもらう
- 情報発信に住民が関わりインフルエンサーの一部となる

【メンバーからの意見】

- 余るほどの選べる住環境の整備
- 移住者向け（単身・家族問わず）住居の確保

【メンバーからの意見】

- 移住希望者への移住プランの拡充
- 町内の働く場をもっと田舎に来たい人に知ってもらう
- 労働力確保への働き
- なにかを作りたい、自分の〇〇で勝負してみたい人に来てもらう
- 新規担い手確保への支援
- 田舎で働きたい人の情報
- 頑張る人を応援する制度・仕組みづくり
- 起業のための講習会。町民が参加しやすいもの
- 都会の人を受け入れたい企業

【メンバーからの意見】

- 物語ストーリーのある観光
- 自分の住む町を好きになること
- 親の意識を変える。町を好きになる
- 観光教育小さい頃から
- 小中高での地域学習
- 土日の非日常体験イベント
- 一次産業にもっとふれる教育（子も親も）
- 地域の人（移住者）を先生にする

【メンバーからの意見】

- 公共交通を使いたくなる企画・イベント
- 釧路に列車で行こうツアー
- 宿泊施設への補助、支援

【メンバーからの意見】

- 遊具施設の整備
- 子育て世代への投資
- 地域ぐるみでの子育て支援の環境整備

(2) グループB

メンバー：前田 航太、猪狩 大智、筒井 貴文、川上 棕輔、大井 美侑

①伸ばすべきところ

情報発信を伸ばしていきたい



【メンバーからの意見】

- 情報発信能力
- YouTube 公式チャンネル
- 川上さんについていける人を増やしたい。デジタルに
- PR カ

娯楽の充実



【メンバーからの意見】

- 芸術に触れる機会を増やしていければ
- 資源を活かしたアクティビティ
- 手軽に利用したい（カヌー等）

食の充実



【メンバーからの意見】

- 特産品開発
- うまい物

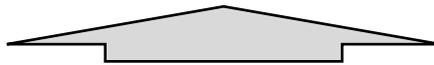
観光を伸ばす



【メンバーからの意見】

- 滞在型観光の推進
- 道の駅

移住者を受け入れる環境を更に伸ばす



【メンバーからの意見】

- 移住者への嫌悪感の少なさ
- 若年層新規移住者
- 協力隊の運用
- 各界で活躍していた既存移住者などの町づくり活動への巻き込み

住みやすい町づくり



【メンバーからの意見】

- 生活の豊かさが実感できるように
- どの地域も住みやすく
- 商店街の環境づくり
- 50代が住みにくいとのこと。おそらく子どもが高校生くらいの親世代

教育環境の充実



【メンバーからの意見】

- 子どもへの支援
- 弟子屈高校
- 少人数学級
- 人口減

温泉の良さ



【メンバーからの意見】

- 町内で異なる泉質
- 川湯温泉泉質
- 温泉の活用
- 温泉の活かし方

立地条件をもっと伸ばしたい



【メンバーからの意見】

- 空港の近さ（アクセス）

行政運営を伸ばす



【メンバーからの意見】

- 財政の健全化
- 町施設の長寿命化

自然環境を伸ばしたい



【メンバーからの意見】

- 当たり前の景色
- 自然の美しさ
- 900 草原
- 国立公園の存在
- CO2 を削減する啓発
- なにもない屈斜路湖畔
- 自然の綺麗さ

②変えたいところ

雇用を生み出す



【メンバーからの意見】

- インターンシップの受け入れ（就活支援）
- 高齢者も働ける
- 農家の減少、新規就農
- 若者が働ける職場
- 通年雇用企業誘致

ネットインフラの充実と整備



【メンバーからの意見】

- ATM（川湯・屈斜路）
- クレジット決済の導入
- 若者への情報発信
- ネット上のインフラ整備

路面の現状把握の仕組みづくり



【メンバーからの意見】

- 道の整備
- 見通しの悪い道路

住まいの確保



【メンバーからの意見】

- 良好な住宅確保
- 賃貸不足
- 定住の促進
- 住居不足（賃貸）

医療サービス・子育て出産の支援



【メンバーからの意見】

- 病院
- 病院の充実？

町内での消費促進



【メンバーからの意見】

- 町内での買い物（民間消費流出）
- 町民価格、アウトドア料金

解体



【メンバーからの意見】

- 廃墟・廃屋の放置
- 景観（空き家など）
- 自然環境と調和する街並み

外国・町外移住者への支援



【メンバーからの意見】

- 外国人向けの案内
- 移住者支援（新規事業者へ）

生活の支援



【メンバーからの意見】

- 農家の意識改革
- 町民意識の高揚
- 糞尿の臭い
- ゴミのポイ捨て

観光と生産者の連携



【メンバーからの意見】

- 観光資源の活用の仕方
- 農産物の活かし方

空き家・空き店舗の活用



【メンバーからの意見】

- 空き店舗がたくさんある
- 空き家転入対策
- 使っていない建物

※その他意見

【メンバーからの意見】

○ICT

【メンバーからの意見】

○魅力ある宿泊施設づくり

【メンバーからの意見】

○ゆるキャラ確立

【メンバーからの意見】

○町内団体の整理

【メンバーからの意見】

○交通の利便性

【メンバーからの意見】

○ゴミ袋料金

○暖房への補助

③やるべきこと

【メンバーからの意見】

- 地場消費拡大のための補助
- 町民価格設定（温泉料・アウトドア体験・駐車場代金）
- 町内の病院へ小児科・産科を増やして医者と呼ぶ

【メンバーからの意見】

- 町のキャッチコピーをつくる
- ゆるキャラも

【メンバーからの意見】

- 道路、不法投棄発見→報告の仕組みづくり

【メンバーからの意見】

- 空き家の現状把握（全戸調査の実施）
- 空き家バンクの民間への完全委託
- 移住体験住宅を20軒まで増やす（空き家活用）
- リノベーションへの支援実施（100万円補助）
- 新たな賃貸を建てる
- 解体費用をなんらかの形で補助
- 空き家放置者への固定資産税の増加策（年5%UP）

【メンバーからの意見】

- 観光サイドと農業関係者の連携
- 観光振興オンリーワン（コアな客を）

【メンバーからの意見】

- 人材発掘（行政入力だけでなく）

【メンバーからの意見】

- 創業支援
- 協力隊の運用組織の設立（30人以上協隊を雇用）
- 移住支援からの起業支援

【メンバーからの意見】

- ふるさと納税使い道の提示
- ふるさと納税の使い道、使い方検討会議（見える化）

【メンバーからの意見】

- コミュニティ対策・支援

【メンバーからの意見】

- （役場として）行政の弱点をさらけだす（YouTube 生発信）

【メンバーからの意見】

- 道東でのトップ ICT シティへ（自然と IT の融合）
- 自動運転試験運行（川湯～弟子屈）
- 鶴居にまずは追いつく
- 光回線の整備全世帯へ情報端末設置

【メンバーからの意見】

- 自然財源創出

【メンバーからの意見】

- 特色ある学校づくり
- 弟子屈高校（アウトドア学部）設置
- コンパクトな町づくり
- 保育園・小・中一貫校をつくる（送迎も）

【メンバーからの意見】

- 大学生のインターンシップ受け入れ→雇用の流れをつくる
- 高齢者も働ける（生きがい）（収入）
- 町内の求人情報を見れるサイトをつくる
- 町内における新規事業のみえる化。どんなプレーヤーが欲しい？ 求めている？（弟子屈でやりたい経営者と連携）

(3) グループC

メンバー：東 香与子、窪内 英和、吉田 祥子、國分 知貴、白山 翔太

①伸ばすべきところ

移住物件を増やして欲しい（倍増）



【メンバーからの意見】

- 移住促進
- 住まい（物件）、情報・仕組み
- 移住対策
- 賃貸物件を増やす。情報を発信可視化する

町の情報発信を積極的にして欲しい



【メンバーからの意見】

- 摩周岳登山の良さを伝える
- 町民が望むかたちの情報発信
- SNS での発信

行政改革して欲しい



【メンバーからの意見】

- 役場職員の女性比率
- 役場職員のやる気 UP
- 行政サービスの向上
- 行政と町民のコミュニケーション
- 時代に合った行政の組織体制。縦割り×

自由裁量のある支援をして欲しい



【メンバーからの意見】

○個人事業、中小企業への具体応援

弟子屈 Lover を増やす



【メンバーからの意見】

○子どもの地元愛
○多様な町民がいる町の雰囲気

※その他意見

【メンバーからの意見】

○道に花がたくさん植えてあるところ

【メンバーからの意見】

○医療信用度↑

②変えたいところ

川湯再生温泉宿泊施設の再生をして欲しい



【メンバーからの意見】

- 温泉施設を増やす
- ホテル等の新設
- 古い看板（屈斜路遊覧船）など書き替えて弟子屈らしく変えて欲しい
- 温泉の統廃合
- 空き家、廃屋の対策
- 観光客へのおもてなしサービス力
- 川湯温泉のもろもろ

自然保護利用のルールをつくって欲しい



【メンバーからの意見】

- 自然保護
- ポイ捨てゴミを減らす
- 環境保全数値的に？ 根拠をしっかりと
- 環境保全
- 自然の正しい利用

弟子屈



【メンバーからの意見】

- 教育（アイヌ自然など）もろもろ

国民の意思を取り入れた公共施設にして欲しい



【メンバーからの意見】

- 摩周湖硫黄山レストハウス
- 主要施設 登山、第一展望台、図書館 etc
- 図書館の充実。読み聞かせ音読室を設置して欲しい

歴史文化を伝える環境整備



【メンバーからの意見】

- 歴史を大切にする
- 文化的なプラットフォーム（共有施設）

※その他意見

【メンバーからの意見】

- 移動手段が少ない

【メンバーからの意見】

- 地産地消率

【メンバーからの意見】

- 観光×農業

③やるべきこと

【メンバーからの意見】

○行政改革して欲しい

【メンバーからの意見】

○町民の意見を取り入れた公共施設にして欲しい

【メンバーからの意見】

○町の情報発信を積極的にして欲しい

【メンバーからの意見】

○弟子屈 Lover を可視化する。ブランディングを

【メンバーからの意見】

○地元の歴史・文化→自然保護利用の要素を取り入れた新たな独自教育

【メンバーからの意見】

○自由裁量のある支援をして欲しい

【メンバーからの意見】

○歴史文化を伝える環境整備

【メンバーからの意見】

○川湯再生温泉宿泊施設の再生をして欲しい

【メンバーからの意見】

○移住物件を倍増して欲しい

5 住民ワークショップ 参加者名簿

No.	氏 名	区 分
1	保里 慎太郎	公募
2	前田 航太	公募
3	東 香与子	公募
4	○窪内 英和	4 Hクラブ会長
5	猪狩 大智	4 Hクラブ副会長
6	吉田 祥子	川湯運営協議会事務局（元協力隊員）
7	筒井 貴文	中心市街地再構築全体構想町民会議副委員長
8	◎今井 慎也	中心市街地再構築全体構想町民会議委員長
9	國分 知貴	えこまち推進協議会
10	鈴木 弥生	えこまち推進協議会女性部
11	川上 椋輔	地域おこし協力隊
12	伊藤 恭子	地域おこし協力隊
13	山野 太郎	役場職員
14	大井 美侑	役場職員
15	白山 翔太	役場職員

◎：委員長、○：副委員長

※敬称略

6 住民ワークショップ 実施の様子

第1回まちづくり町民会議（7月5日）

Aグループ



Bグループ



Cグループ



第2回まちづくり町民会議（7月21日）

Aグループ



Bグループ



Cグループ



第3回まちづくり町民会議（7月21日）

Aグループ



Bグループ



Cグループ

